

AI病理画像解析におけるドメインシフト克服法の検討

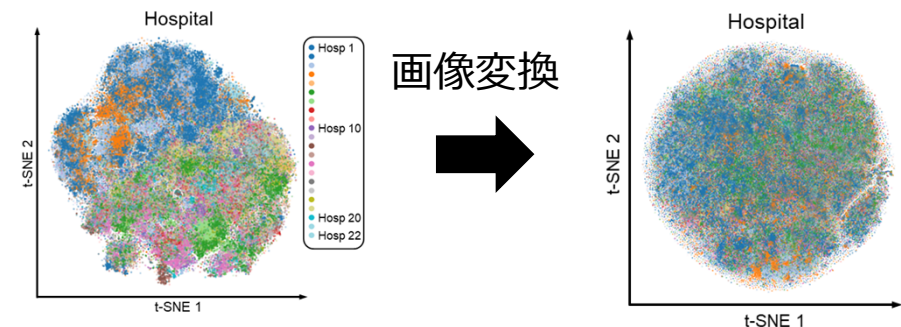
大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 氏名 松井 功

目的 複数病院に由来する病理画像解析においてしばしば問題となるドメインシフトを克服する手法を開発する。

内容 CycleGANを基盤とした画像変換手法を適用することで、施設間差異の補正を試みた。

結果 CycleGANを用いた画像変換により、施設間ドメインシフトが効果的に克服され、下流タスクの性能が向上することが判明した。

利用した計算機 SQUID 汎用GPUノード群
ノード時間 1,300 時間



図：病理画像の特徴量を抽出しt-SNEで2次元可視化